

ワンコイン浸水センサ実証実験開始 ～官民連携による浸水状況の把握に向けて～

国土交通省では、浸水の危険性がある地域に浸水センサを多数設置し、リアルタイムに状況を把握する実証実験を官民連携により行っています。

このたび、モデル地区の一つである美波町（徳島県）において、浸水センサの設置が完了するなど、実証実験を開始しています。

○実証実験の目的

近年、大雨による浸水被害や河川の氾濫が頻発しており、面的に浸水の状況をいち早く把握し、迅速な災害対応を行うことが重要となっています。

そのため、国・自治体・民間企業等の様々な関係者が「小型・長寿命・低コスト」のワンコイン浸水センサを多数設置し、浸水状況を面的にリアルタイムで把握する仕組みの構築に向けて、センサの特性や情報共有の有効性等を実証するものです。（別添資料－1参照）

○実証実験の実施場所・参加団体

実証実験は、5つのモデル地区（愛知県岡崎市、兵庫県加古川市・南あわじ市、徳島県美波町、佐賀県神崎市）において、国及び公募で決定した自治体・民間企業等の参加により実施しています。

○美波町（徳島県）での実証実験

モデル地区である美波町では、自治体及び民間企業により、2種類の浸水センサを町内各地の6箇所に39個設置し、実証実験を行います。（別添資料－2参照）

本実証実験参加企業であるニタコンサルタント（株）は美波町と連携し、独自の浸水センサの開発にこれまで取り組んできており、本実証実験では独自の浸水センサの設置も行っています。

また、美波町（徳島県）以外のモデル地区においても、現在、浸水センサの設置を進めています。

（参考）これまでの記者発表資料等は以下 WEB サイトに掲載しています。

<https://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/wankoinsensa/index.html>

【問合せ先】

国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室
企画専門官 外山（内線 35392）、係長 中村（内線 35394）

代表 03-5253-8111 直通 03-5253-8446 FAX 03-5253-1602

浸水被害の把握

ヘリによる調査

リアルタイム性

- ・悪天候時に調査不可
- ・夜間調査不可



痕跡調査

機動力

- ・広範囲の調査不可
- ・多数の人材確保
- ・専門の技術者が必要



【既存の技術】

ワンコイン浸水センサ

センサの特徴

小型、長寿命かつ低コストで、堤防や流域内に多数の設置が可能な浸水センサ



※河川砂防技術研究開発公募で開発したセンサ

- ・小型
- ・低コスト
- ・長寿命

官民連携による浸水域把握イメージ

堤防の越水・決壊などの状況や、地域における浸水状況の速やかな把握のため、浸水センサを企業や地方自治体等との連携のもと設置し、情報を収集する仕組みを構築



【技術開発】

活用イメージ

【災害時】

- ・早期の人員配置
- （道路冠水による通行止め
避難所の開設 等）
- ・ポンプ車配置の検討

【復旧時】

- ・罹災証明（自治体等）の簡素化・迅速化
- ・保険の早期支払い
- ・災害復旧の早期対応

など

スケジュール

令和3年11月～

- ・実証実験準備会合を開催
- ・実証実験に向けてセンサの仕様や実施内容を検討・確定

令和4年3月～

- ・実証実験参加企業の公募

令和4年出水期以降～

- ・モデル自治体において、国・自治体・民間企業等にてセンサを設置し、実証実験を開始
- ・必要に応じ、エリアを拡大

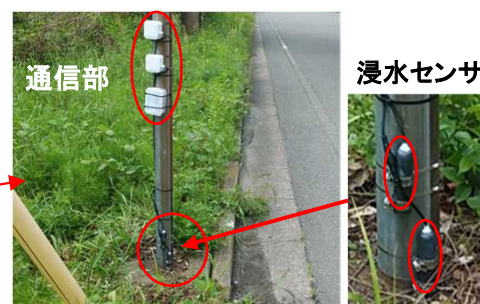
（実証実験モデル自治体）

- 愛知県岡崎市
- 兵庫県加古川市
- 兵庫県南あわじ市
- 徳島県美波町
- 佐賀県神埼市

美波町(徳島県)での浸水センサ設置状況

□ モデル地区である美波町では、自治体及び民間企業により、2種類の浸水センサを過去に浸水被害があった町内各地の6箇所に39個設置し、浸水状況を迅速に把握するために実証実験を行っています。

美波町(徳島県)での設置状況



②日和佐中学校裏

①美波町文化交流施設